

八王子市教育委員会 殿

学校名 八王子市立散田小学校
校長名 島 田 学 公印

令和7年度教育課程について(届)

このことについて、八王子市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校は学校運営協議会と協働し、人間尊重を基調とした教育を推進する。自他を尊重し、多様な他者と協働し、人生を切り拓く持続可能な社会の創り手として求められる資質・能力を身に付け、「ふるさと散田・八王子」を敬愛する児童の育成をめざし、児童の実態を基に、次の児童像を設定する。

- 思いやりのある子
- ◎学びあう子（重点目標）
- たくましい子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

困難な社会の中で、多様な他者と協働しながら、自らの可能性を発揮し、人生を切り拓いていくことができるよう、学習指導要領に示された資質・能力を児童が確実に身に付ける教育活動を展開することが、本校の使命であると捉える。基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、思考力、判断力、表現力等を育成し、学びに向かう力、人間性等を涵養するために、以下の項目について取り組む。

ア 確かな学力の育成

学ぶ喜びを感じながら言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等、学習の基盤となる資質・能力を育成するため、「主体的・対話的」で深い学びを充実させる。また、学校サポーター、地域の人材等の計画的な配置、八王子版GIGAスクール構想に基づいたICTの活用、児童が学び方を選択する学習、学び合いの充実等、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に実現させる。

イ 豊かな心や創造性の涵養

多様な他者と協働することの意義を感じ、自己を肯定的に捉え、自立した人間として主体的に判断し行動することができるように、学校行事や地域と協働した交流活動、感性を働かせ価値を創造していく体験等を充実させるとともに、道徳科を要とした道徳教育を充実させる。

ウ 健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現

健康な生活を積極的に実践したり豊かなスポーツライフを実現したりすることのできる資質・能力を育成するため、心身の健康の保持増進、安全、食に関する指導や取組を推進するとともに、児童が主体的に体力を向上させる取組を推進する。

エ 不登校児童等への支援

不登校総合対策「つながるプラン」に基づき、多様性を認め合う学校づくり、児童の支援ニーズの早期把握と組織的対応、多様な教育機会や居場所の確保を通して、児童自らが進路を主体的に捉えて、社会的に自立することをめざす。

オ いじめ総合対策を踏まえ、いじめ防止等の取組を効果的に実行するための方針

学校いじめ基本方針に基づき、いじめは人権侵害であり、何人ものいかなる理由によっても、いじめを行ってはならないことを児童に理解させ、児童が安心して生活し、学ぶことができる環境づくりといじめ防止及び早期発見、早期対応に全校をあげて取り組む。

カ 一人ひとりの教育的ニーズに的確にこたえる特別支援教育の充実

八王子市第五次特別支援教育推進計画に基づき、すべての児童が障害の有無にかかわらず、共に学び、互いを尊重し、助け合い、社会で自立できるよう、義務教育9年間を見通した指導・支援体制の充実を図るとともに、教員の指導力の向上を図る。

キ 小中一貫教育のさらなる充実【横山中学校グループ（散田小・横二小）】

横山中学校グループにおいて義務教育9年間で育てたい児童・生徒像を「自分の命、他人の命、地域の学び舎を大切にする児童・生徒の育成～あいさつがこだまする愛溢れる横山中校区～」とし、小中一貫教育の日の取組を中心に、地域・保護者と協働して共通目標を実現するための取組を推進する。

2 指導の重点

(1) 各教科等

ア 各教科（外国語活動を含む）

- ① 「主体的・対話的」で深い学びを実現するために、各教科等特有の見方・考え方を働かせ、「見通しをもつ」「粘り強く取り組む」「振り返る」指導、多様な他者との協働、対話を通して自己の考えを広げ深める指導、表現活動や鑑賞活動を含めた多様な言語活動を経験させる指導を行う。
- ② 児童が目的に応じて多様な学び方を選択できるようにするため、児童の認知や成長に合わせた学習や指導の工夫を行い、児童にICTをはじめとするデジタル媒体と学校図書館の活用を含めたアナログの媒体の双方を活用させる指導を行う。
- ③ 児童の一人ひとりの学力の状況を改善させるため、八王子市学力定着度調査を踏まえ、課題となる学習内容を明確にするとともに、言葉や数量のイメージを豊かにするための指導方法の工夫改善を行う。
- ④ 専門性の高い教科指導の実現、多面的・多角的な児童理解の促進、中学校教育との円滑な接続のため、交換授業の実施や高学年における一部教科担任制の導入を推進する。
- ⑤ 児童の体力・運動能力を向上させるため、東京都統一体力テストにおいて児童の体力・運動能力の実態を把握し、体育科の授業における重点指導項目を設定して指導するとともに、児童が運動の魅力や能力の伸長が実感できる指導を行う。
- ⑥ 外国語科及び外国語活動においては、コミュニケーションを深め、実際の生活場面において知識や技能を活用する力を育成するため、具体的な課題等を設定し、目的や場面、状況等を意識したペア・ワークやグループワークを重視した指導を行う。

イ 総合的な学習の時間

- ① 地域への愛情を育み、地域・社会の一員としての意識を高めるため、八王子車人形等の日本遺産、「ふるさと散田・八王子」を感じる地域の教育資源を活用した郷土学習を実施する。
- ② 未知の状況の中で活用できる問題発見・解決能力を身に付けるため、地域社会や実生活の中から課題を設定し、探究的かつ協働的な学習を行う。

ウ 特別活動

- ① 多様な他者と協働する意義や必要となることを理解し、行動の仕方を身に付けるために、学校行事、縦割り班活動等、異学年・特別支援学級と交流し協働する活動を通し、他者のよさを感じたり自身の役割を考え取り組んだりできるよう指導する。
- ② 集団や自己の生活をよりよくし、自己実現を図るために、各学年・学級の自主的・実践的な活動を基盤とし、移動教室、学級活動・委員会活動・クラブ活動の計画・運営において積極的に企画案を出したり合意形成や意思決定に主体的に参画したりできるよう指導する。
- ③ 健康・安全への意識を総合的に高めるため、健康診断や健康の保持、けがの防止に関する指導、給食や食に関する指導、自己のめあてをもち体力を高める取組を計画的に実施する。

(2) 特別の教科 道徳を要とした道徳教育

- ① 道徳教育全体計画及び別葉を踏まえ、道徳科においては、「相互理解・寛容」、「規則の尊重」を重点項目として設定し、児童が道徳的諸価値の理解を基に判断する「考え、議論する」道徳の授業を実施する。
- ② 道徳授業地区公開講座を実施し、家庭・地域と連携して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を養う。

(3) キャリア教育

- ① 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくため、キャリア教育年間指導計画に基づき、各教科等において「働くこと」について児童自身の将来の生活と社会を関連付けた指導を行う。
- ② 横山中学校グループで一体となって児童一人ひとりのキャリア形成と自己実現をめざし、「はちおうじっ子キャリア・パスポート」を活用して、家庭と連携しながら学期の節目や行事ごとに見通しをもったり、振り返ったりする機会を設定し、次年度や進学先につなげ、自己の成長や将来とのつながりを意識することができるようにする。

(4) 特別支援教育

- ① 障害の有無に関わらず全ての児童が適切な指導や学習の機会を得られるよう、アセスメントやケース会議の実施、指導・支援方法の研究・研修を通して、インクルーシブな教育を推進する。
- ② 児童の困難を軽減するため、学校生活支援シート、連携型個別指導計画を活用し、特別支援教育コーディネーターを中心に在籍学級担任、特別支援学級担任、巡回指導教員、スクールカウンセラー、関係機関と連携して必要な支援の方向性や障害の特性に応じた指導方法を実践する。
- ③ 多様な個性を尊重して支え合う関係を築いていくため、特別支援学級との交流及び共同学習、都立特別支援学校との副籍交流において温かい人間関係をつくり、相互理解を促進する指導を行う。

(5) 生活指導

ア 生活指導

- ① 健全な学校生活を送るための「散田スタンダード」を定着させるとともに、児童の実態や状況に応じて見直しを行い、児童一人ひとりが自己指導能力を身に付けるようにする。
- ② 安全指導、避難訓練の計画的かつ確実な実施、交通安全教室、セーフティ教室の実施を通して、危険を予測し回避する能力と、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成する。
- ③ 自他の体を大切にすることが、性暴力・性犯罪の加害者、被害者、傍観者とならないよう適切に対応する力を身に付けるために、発達段階に応じ、体育科、特別活動を中心に「八王子市教育委員会『生命（いのち）の安全教育』」を活用して指導する。

イ いじめ防止等の取組

- ① 学校いじめ防止基本方針に基づく「学校いじめ対策委員会」を週1回以上実施し、新規案件、継続案件の状況の確認、具体的な対応策について協議し、役割分担を明確にするとともに、「いじめ対応のための時間」にて全職員の共通理解を図り、確実に取り組む。
- ② ふれあい月間アンケート、個票システム、Q-U調査の活用、見守りシートの保護者への周知徹底、個人面談の実施を通して、生活指導上の問題の早期発見、早期対応を図る。
- ③ 「八王子のいのちの大切さをともに考える日」では、SOSの出し方に関する教育、特別の教科 道徳における「生命の尊重」に関する授業、自分や他者のよさを再確認する取組等に重点的に取り組み、自尊感情・自己肯定感及び命を大切にする心を涵養する。

ウ 不登校児童への支援等

- ① 児童アンケートや個別面談、個票システム等を活用し、「不登校児童」「気になる児童」の状況を全教職員で共有し、登校支援コーディネーターを中心に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関と連携して支援策を協議し組織的に対応する。
- ② 学校コーディネーターと連携し、配慮が必要な児童に対応するためのリソースルームの活用や支援ニーズを踏まえた取組を推進する。

(6) 特色ある教育活動

ア 義務教育9年間を見通した小中一貫教育の取組 横山中学校グループ（散田小・横二小）

- （取組1）小中合同縦割り班を編成し、あいさつ運動、レクリエーション等の交流、地域清掃、避難訓練等、日常的な活動を実施し、9学年の児童・生徒がよりよい人間関係を築き、一体感を創り出していく。
- （取組2）学力定着プロジェクト部会を設置し、八王子市学力定着度調査の分析と系統的な学習指導の在り方の検討を年3回行い、授業改善を行うとともに、児童・生徒の情報共有を行い、地域と連携した補習教室を実施する。
- （取組3）小中一貫連絡会において配慮が必要な児童・生徒に関する諸情報を共有・共通理解して、小中一体となって対応するとともに、「生活のスタンダード」の見直しと校内掲示を行う。
- （取組4）地域防災フェスタへの参加を通して、防災意識や「地域の子どもは地域で育てる」意識を、保護者・地域と共有していく。

イ 学力向上の取組

八王子市学力定着度調査、はちおうじつ子ミニマム、東京ベーシックドリル・診断シート等を活用し、家庭と連携して、児童の状況を把握し、学校サポーターの計画的な配置、朝の「基礎学習」、放課後の「学習内容の定着の時間」、補習教室、実施、ドリル型学習コンテンツの日常的な活用を実施する。

ウ その他

- ① 散田小2020レガシーとして、西川古柳座による八王子車人形、和太鼓、茶道等の体験を通じた伝統文化や郷土を愛する心情や伝統を受け継ぐ活動、保育園や幼稚園、地域の老人会、八王子盲学校等との交流学习等、「学びを伝承する活動」を全学年で推進すると共に、関連する地域主催の取組について児童に周知して参加を促し、地域の多様な他者と協働し、地域の一員としての意識を高める。「地域活動の記録」を活用し、児童の地域での活躍を評価できるようにする。
- ② 情報活用能力を向上させるために、各教科等において、情報活用能力系統表に基づいたスキルやリテラシーを身に付ける指導を横山中学校グループで一体となって行う。
- ③ 小学校への円滑な就学を実現し、保育園・幼稚園等で培ってきた力を発揮できるようにするために、保・幼・小連携の日を中心に、児童と年長児の交流、職員同士の交流、児童に関する情報共有を行うとともに、第1学年においてスタートカリキュラムを活用した指導を行う。